

放火防止パトロール



【飯田学区】

■世帯数：6,328 世帯

■人 口：12,539 人

■面 積：0.912k㎡

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

- ・平成 22 年 6 月より、放火防止パトロール隊による巡視を実施している。
- ・不審火が多発した当初は、学区内を 7 ブロックに分け、各町 5～6 名ずつ参加している。1 回あたりの参加者数は約 130 人、年間では延べ約 3,000 人である。

【アピールポイント】

平成 22 年から 23 年にわたって全ブロックで実施した。（平成 24 年は 4 ブロックが実施している。）

2 きっかけ、背景

平成 22 年 1 月から 4 月頃にかけて不審火が多発したため、平成 22 年 6 月より放火防止パトロール隊を結成し、学区一斉パトロールを開始した。現在は 4 ブロックが実施している。

3 実施の体制

運営メンバー

区政協力委員、町内会・自治会長、民生委員児童委員、保健委員、消防団員、PTA、女性団体・女性会、老人クラブ、スポーツ推進委員

4 実施のスケジュール

H22年
1～4月頃 放火・火災が多発



5月 放火防止パトロール隊結成
各町内5～6名ずつ参加



6月 パトロールの実施（約1時間）



5 成果と課題

(1) 成果・効果

- ・ 自発的なパトロールへの参加者が多くなった。
- ・ 住民意識の向上や住民間の交流の深まりに役立っている。

(2) 苦労した点

- ・ 参加者の確保や住民の理解を得ること。
- ・ 参加者に、目的意識を持ってもらうこと。

(3) 今後の課題・展望

- ・ パトロールをやめると再び放火が発生する危険性があるので、活動を継続することが必要である。